

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立玉島高等学校
実践場面	玉島プロジェクト探究フィールドワーク
実践日時（時期）	令和6年7月23日
対象生徒（学年）	普通科1年生
連携の形態	☐ 包括連携協定（ ☐ 商工会議所・商工会） ☒ その他（ ☐ 学校が個別に依頼）
学びの分類	☐ 講演会講師・説明会 ☐ 技術指導 ☒ 企業訪問・インターンシップ ☐ 商品開発・共同研究 ☒ 最新技術・設備の見学 ☐ その他

実践の内容

【現状】

科学的な知識を身に付ける学習（ユニット学習）を通して自分の周囲に興味・関心を持ち、地域社会の課題を発見することを目的に、「地域探究」として地域の企業や施設・研究機関等でフィールドワークを行い、発見した内容をポスターにまとめて発表している。

【実践内容】

令和6年度の玉島プロジェクト探究では、次に示す地域の企業や施設・研究機関等でフィールドワークを行い、発見した内容をポスターにまとめて発表した。

（訪問先）

白神紙商店、玉島信用金庫、のだ初、玉島テレビ、渡辺胃腸科外科病院、介護付有料老人ホームドルフィン玉島、太陽電機工業、新興工業株式会社、山鋼プラントック、富田産業株式会社、遊美工房、松濤園、菊池酒造、ナカシマプロペラ玉島工場、猪木畳店、玉島活版印刷所、水島機工玉島工場、JFE 鋼板倉敷製造所、岐阜プラスチック工業倉敷工場



実践による効果等

見学の手続き、取材のマナー、礼儀や挨拶など、「聞く」「話す」「まとめる」力を必要とする言語活動を組み込むことで、社会に通用するコミュニケーションを実践的に学んだ。